

中国のフードデリバリー配達プラットフォーム上の 第三種労働者：比率の見積もりと勤務条件

涂偉, CALSS



中国労働・社会保障科学研究院

Chinese Academy of Labour and Social Security

北東アジア労働フォーラム2022/11/24

背景:

- デジタル労働プラットフォームの出現により、**労使関係の認定**には大きな課題がつけつけられることとなった
 - 従来型の「労働者-自営業者」の二分法に疑問が生じる。
 - 中国の労働法が採用するのもこの二分法であり、労使関係の認定はかなり厳格なものである。



- 「不労使関係の認定に完全には適合しない」新しいカテゴリー(以下、第三種労働者と言う)が初めて提示され、従来の労働法の枠組みの下での「被雇用者—自営業者」の二分法が打ち破られた。

人力資源・社会保障部などの『新しい就業形態の労働者の労働保障権益の保護に関する指導意見』
(2021.7)



- ただし、第三種労働者の認定基準は主に理論的な面の検討に基づいている。
- 現在、一部の肝要な問題についてはまだそれを支えるだけの十分なデータがない。
 - Q1:どの程度の割合の新就業形態労働者が第三種労働者と認定されるのか？
 - Q2:労働者、自営業者グループと比較して、第三種労働者と認定される者は労働権益保障の面でどのような不足があるか？

主な内容

1. 研究方法
2. 第三種労働者の比率の見積もり
3. 第三種労働者の業務条件
4. 検討と政策的提言

1.研究方法

1.1. 国際的な経験

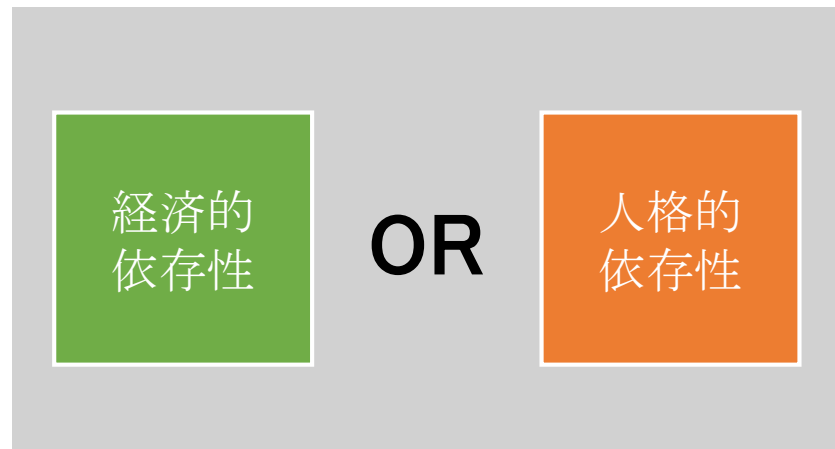
経済的依存性の測定

- 方法一: 一人の顧客のためだけに働く
 - 英国の労働力調査、Eurofound、Eurostat
- 方法二: 収入が占める割合
 - ドイツ (≥50%)
 - スペイン (≥75%)
 - ポルトガル (≥80%)

人格従属性の測定

- Eurofound:
 - 他者を雇用する権限があるか否か
 - 具体的な仕事について決定権を有しているか
- Eurostat:
 - 働く時間についてコントロールする権利があるか否か

Eurofound



Eurostat



1.2. 当方の測定方法

指標	サブ指標	アンケートの質問
経済的従属性に関する測定 (1つの指標)	/	1.プラットフォームで得た収入が個人の労働報酬に占める割合。
人格的従属性に関する測定 (4つの指標)	時間のコントロール	1.一日のオンライン、オフラインの時間を自ら決めるか (時間に関する自主性)。
	任務のコントロール	2.どの注文を受けるか自ら選択することができるか否か(任務の選択) 3.配達中に突発的な出来事に遭遇した場合、自身で対処することができるか否か(労働過程に対するコントロール) 4.ほかの人に代わりに注文書の配達をさせることはできるか(自らの仕事履行)。

1.3. サンプルの状況

- 2021年12月から2022年1月まで、**無作為抽出**の方式による
- 北京、成都、杭州、深圳、ハルビンの**五つの都市**で電子版アンケートを配布
- 計**7680部**のアンケートを回収することができた



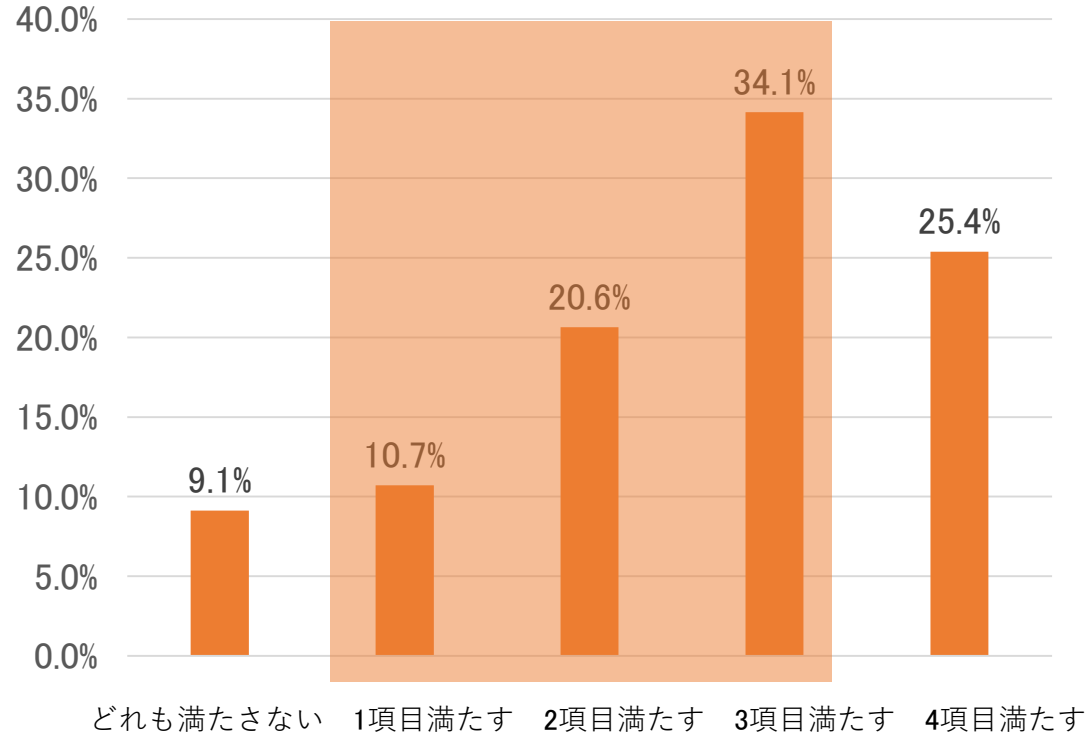
項目	分類	数量	占める割合	平均値	標準偏差
性別 (0,1)					
	男	7306	95.1%	1.05	0.215
	女	374	4.9%		
年齢					
	19-25 歳	983	12.8%	34.38	8.198
	26-35 歳	3779	49.2%		
	36-45 歳	2095	27.3%		
	46-55 歳	688	8.9%		
	56-61 歳	135	1.8%		
婚姻状況 (1-3)					
	未婚	3109	40.5%	1.66	0.592
	既婚	4083	53.2%		
その他	488	6.4%			
扶養する子の状況 (0-3)					
	子どもなし	3597	46.8%	0.85	0.929
	子ども1人	2015	26.2%		
	子ども二人	1689	22%		
	三人以上	379	4.9%		

学歴 (1-5)		数量	占める割合	平均値	標準偏差	
	中卒以下	2899	37.7%	1.88	0.883	
	高校/中等専門学校/職業高校	3336	43.4%			
	高等専門学校	1023	13.3%			
	大学学部	325	4.2%			
	修士以上	97	1.3%			
戸籍の種類 (1-4)						
		当地の非農村戸籍	648	8.4%	3.40	0.987
		当地の農村戸籍	875	11.4%		
		外地の非農村戸籍	952	12.4%		
		外地の農村戸籍	5205	67.8%		
就業状態 (1-2)						
		プラットフォームのフルタイム	5572	72.6%	1.27	0.446
	プラットフォームの専業	2108	27.4%			
配達員のタイプ(1-3)						
		「伝送」の配達員	2231	29.0%	2.29	0.888
		「楽跑」の配達員	969	12.6%		
	「衆包」の配達員	4480	58.3%			

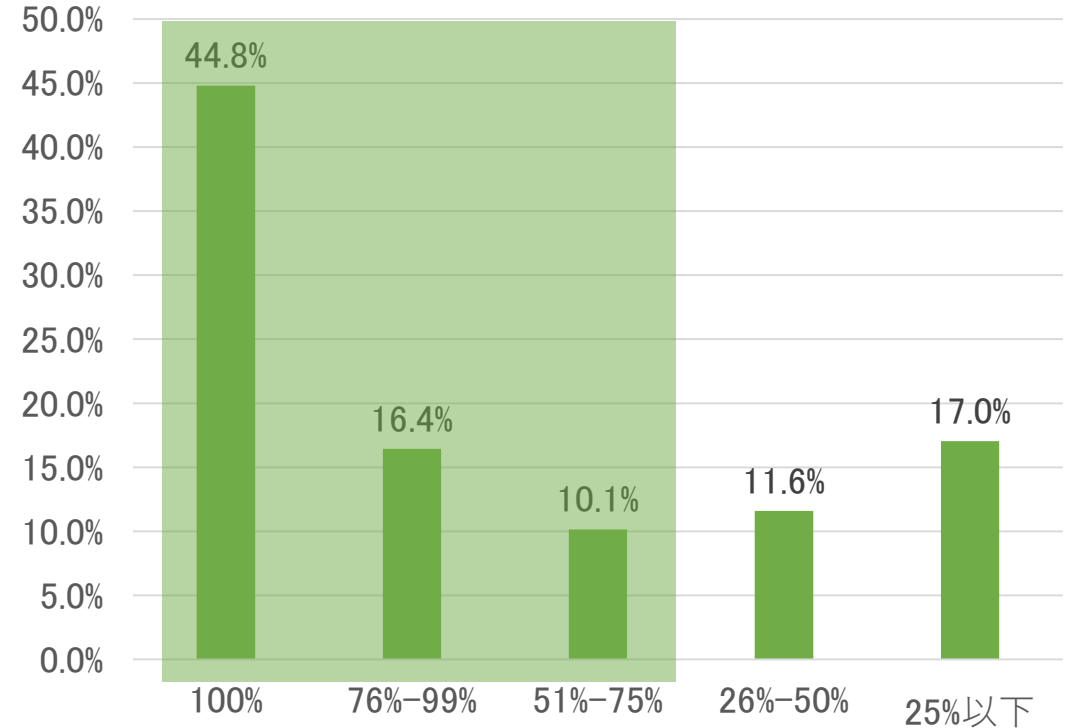
2.比率の見積もり

2.1. 単一の指標のみ考慮

人格的従属性のみから見た場合
(65.4%)



経済的従属性のみから見た場合
(71.3%)



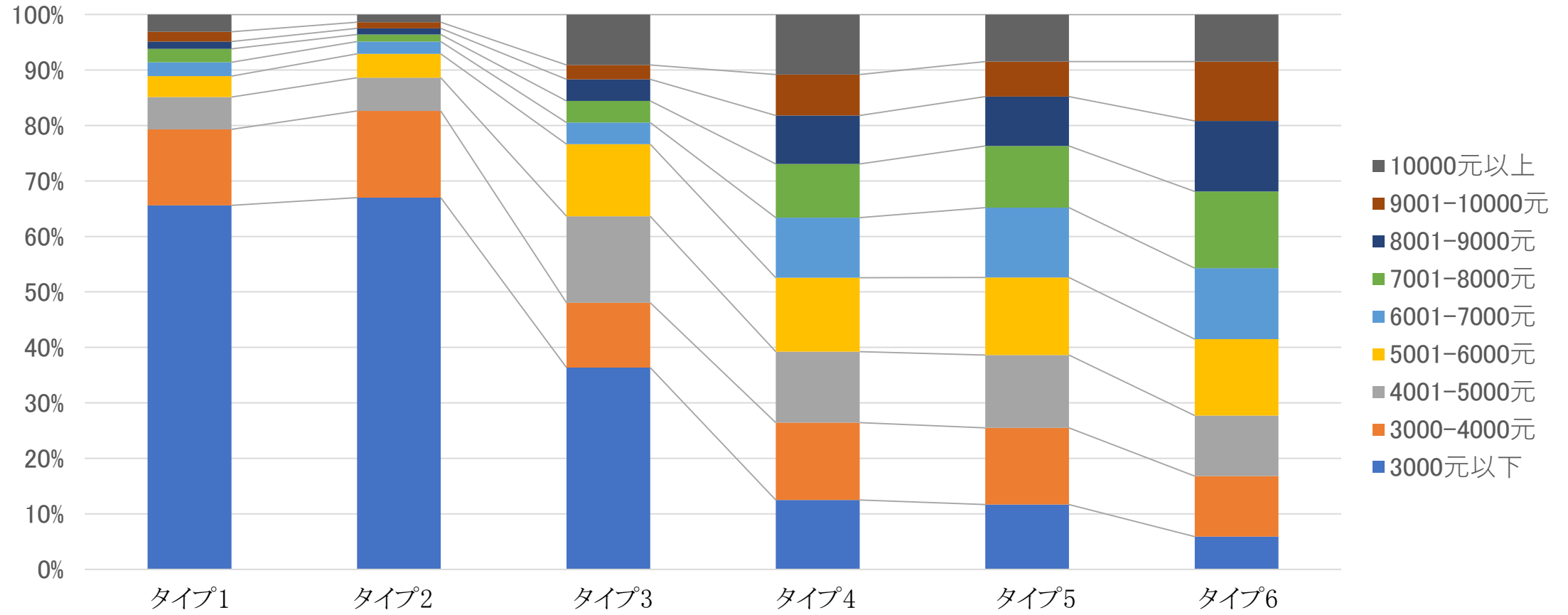
2.2. 人格的従属性と経済的依存性を同時に考慮

84.7%

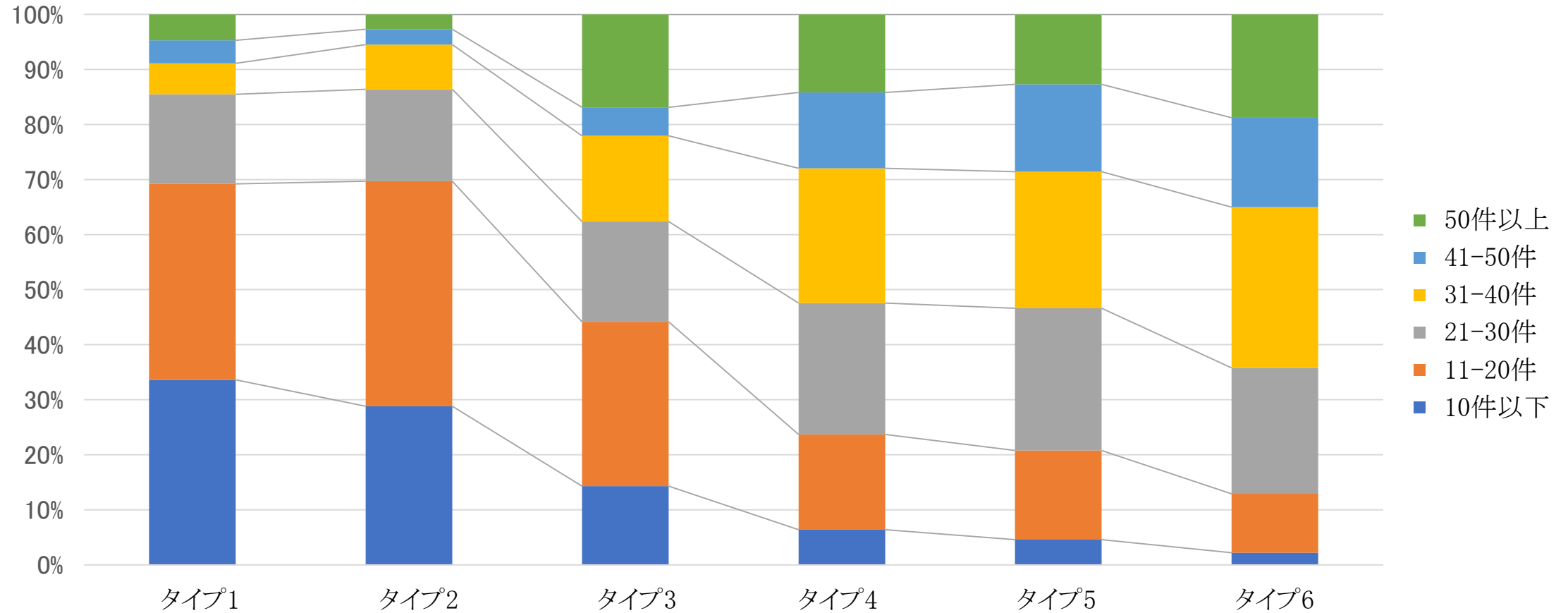
人格的従属性 経済的依存性	低い (いずれも満たさない)	中程度 (1項目から3項目 満たす)	高い (全て満たす)
低い(<50%)	タイプ1(自営業者) 7.2%	タイプ2 20.4%	タイプ3 1.0%
高い(≥50%)	タイプ4 18.2%	タイプ5 45.1%	タイプ6(労働者) 8.1%

3.業務条件

3.1.収入

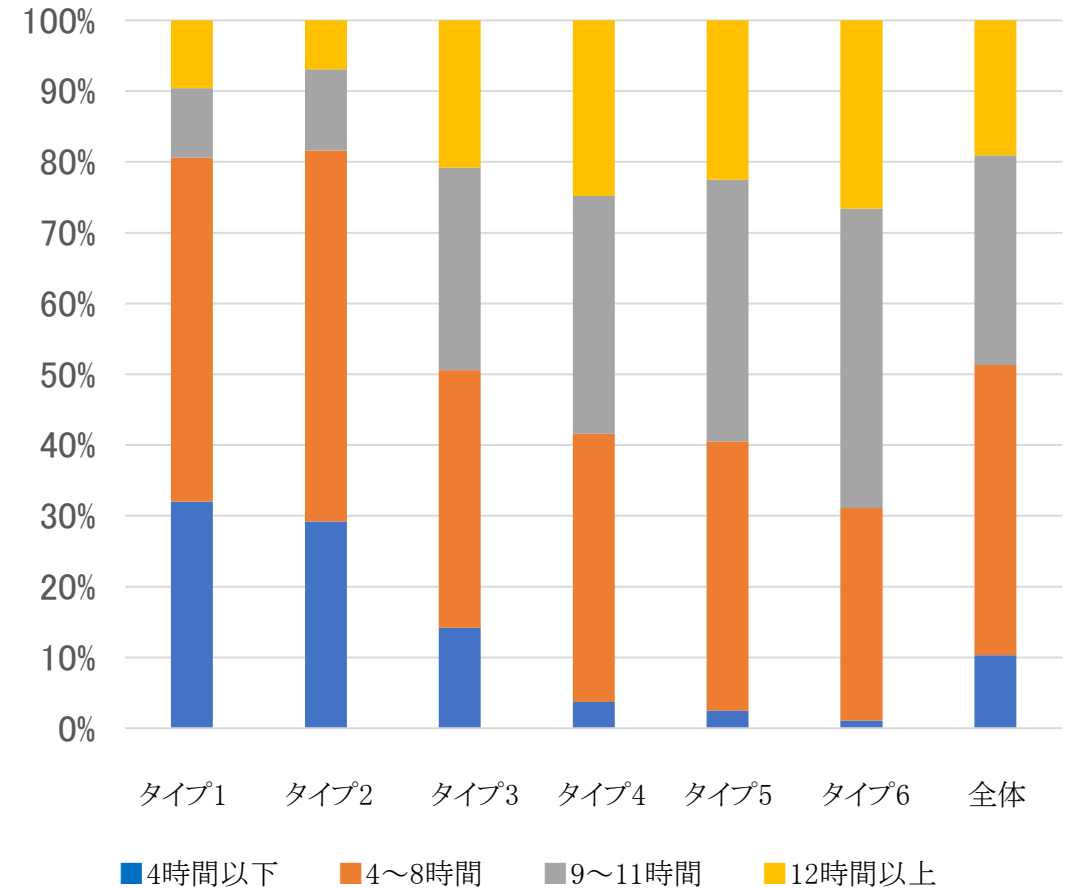


3.2.仕事の強度：受注量



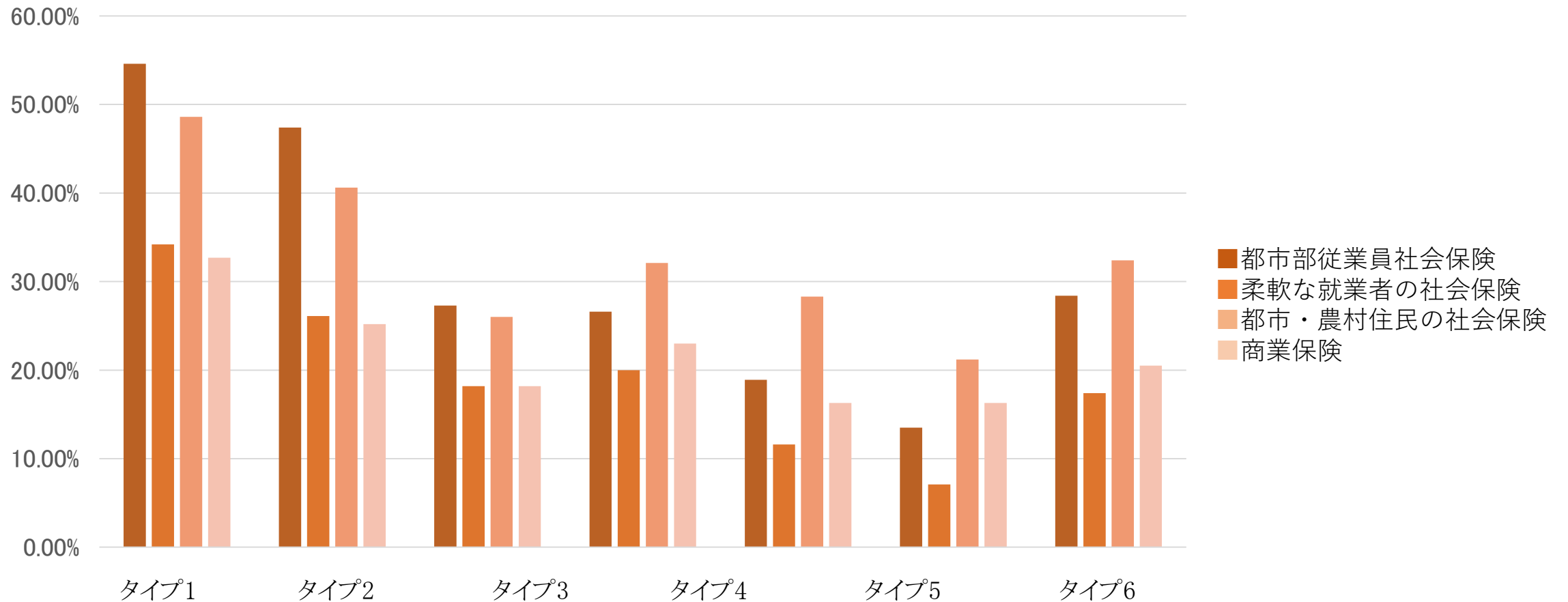
3.3.働く時間

	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4	タイプ5	タイプ6	全体
週の平均日数	5.58	5.79	6.16	6.49	6.61	6.79	6.36

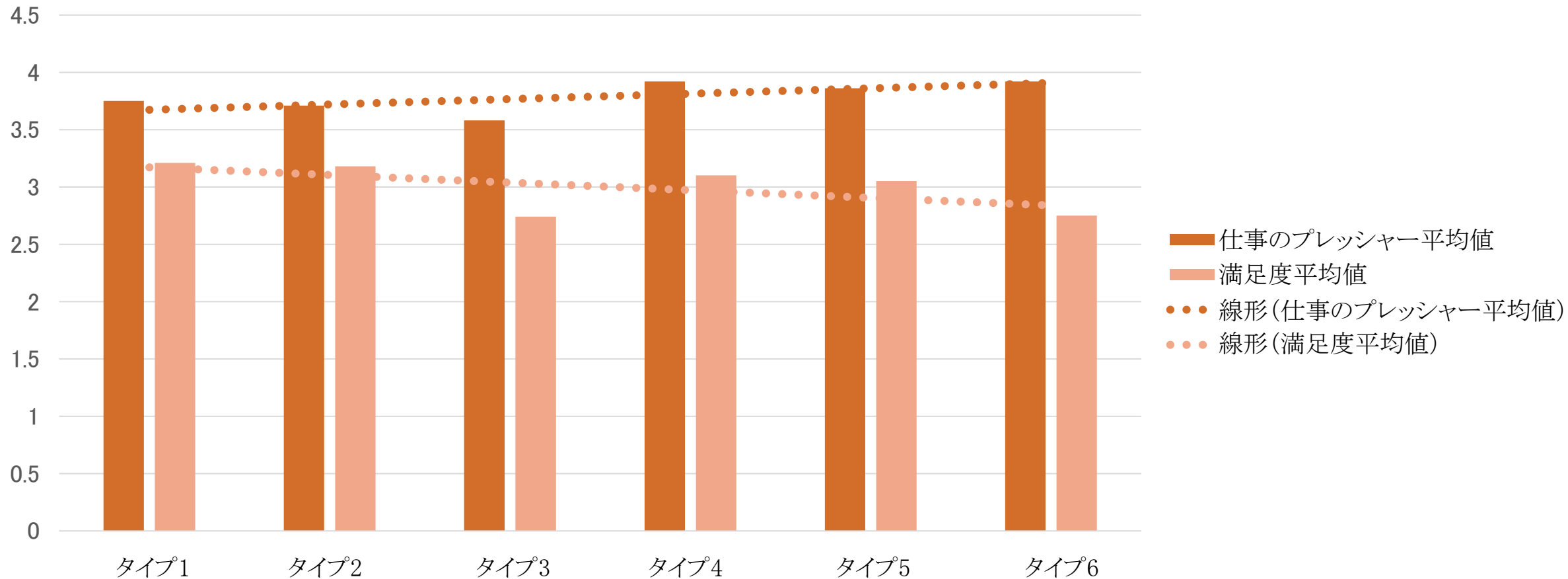


一日の実際の注文受付時間

3.4. 社会保障のカバー



3.5.主観的指標：仕事のプレッシャーと満足度



4. 検討と政策の提言

4.1. 検討:

1. 配達者のうち第三種労働者が占める割合が比較的高い。典型的な自営業者または労働者の特徴をそなえた配達者の割合は比較的低く、調査サンプルの約15.3%であった。それに対して、上述の典型的特徴に完全には適合しない第三種労働者の割合は84.7%に達している。
2. 第三種労働者自身、異質性に満ちている。そのうち、比率が最大の第三種労働者は「経済的従属性が高く-人格的従属性も比較的高い」タイプであり、それがサンプルの約45.1%を占める。

4.1. 検討(つづき)：

3. 指標によって区別の作用は異なる。**経済的従属性**の指標は、労働者の労働条件を区別するうえで弁別の作用がより顕著である。**人身的従属性**のレベルは、労働者の客観的労働条件を予測する作用は顕著ではないが、労働者の主観的気持ちを予測するうえでは指標としての作用をよく果たしている。
4. 各種タイプの配達者の**社会保障参加率は普遍的に比較的低い**。とりわけ、人格的従属性、経済的従属性がいずれも強い配達者は参加率が低い。

4.2.政策的提言

1. 新しい就業形態の労働者に対する保護は主に、その経済的従属性の特徴に基づくものであるべきだ。
2. トップダウンの形で中国の柔軟な就業者の社会保障制度を整備することが早急に必要である。



Q&C.

 : [+86 18201470716](tel:+8618201470716)

 : tuwei@calss.net.cn